

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
ケーキを作ろう ～紙粘土のクリーム粘土～	小	グループ学習 低学年すみれ・れんげ (図画工作・自立活動)	土橋知幸

<ねらい>

- ☆ケーキをイメージして、みだてたりつもりになったりしながら楽しく作る。
- ☆「こうしたらこうなる」と自分なりに考えたり、見通しをもったりしながら、自ら道具に働きかけて活動に取り組む。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- ①軽い紙粘土に水を混ぜてふわふわの「クリーム粘土」を作った。
(大きめのフリーザバッグに軽い紙粘土と水を入れ、揉んでなじませた。)
- ②フリーザバッグの角を切り、「ふりふりクリームメーカー」というクリームを絞る容器(写真1)や、「絞り袋」に入れた。
- ③段ボールと紙粘土で作った「丸いケーキの土台」(写真2)の上に絞り出した。また、「シリコンカップ」(写真3)の中に絞り出すことにも取り組んだ。
- ④カラフルな「おはじき」や宝石のような「アクリルアイス」(写真4)、以前の学習で粘土を型抜きして作った「チョコの粘土」(写真5)などのトッピングをたくさんつけていき、飾り付けた。



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)



(写真5)

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- ・見た目が「生クリーム」のようであり、また「ケーキの土台」があることで、ケーキをイメージして取り組むことができた。ケーキにみだてたり、ケーキを作っているつもりになったりして、自分から作ることに主体的、意欲的に取り組んでいた。
- ・容器や袋などの道具を使うことで、粘土がきれいな形になって出てくることを楽しみにしながら取り組む姿が見られた。また、手や指に力を入れて「ギュッ」と絞り出すことで、自然と手指先を使い、力加減や力の入れ具合を経験することができた。
- ・さまざまな「トッピング」があることで飾り付けにも意欲的に取り組んでいた。



<その他(材料、費用、購入先等)>

軽い紙粘土、フリーザバッグ、ふりふりクリームメーカー、絞り袋など(100均)